

HYDROGEN DIALOGUE – SUMMIT & EXPO 開催レポート

HYDROGEN DIALOGUE 2024 – Summit & Expo は、水素経済バリューチェーンのビジネス/政治/科学の意思決定者と専門家のための国際対話イベントです。本年は12月4日(水) – 12月5日(木)にニュルンベルクメッセで開催され、新しい視点や革新的なソリューション、そして貴重な出会いに満ち刺激的で充実した2日間となりました。水素産業に関わる政界、ビジネス界、アカデミアなどから日本を含む17の国際代表団(デリゲーション)からデジジョンメーカーと専門家が一堂に会し、質の高い議論がサミットで行われました。また、並行して開催された見本市も約1,500人の来場者と40社を超えるが出展し、水素産業のイノベーションを披露。国際代表団とビジネス、政治、科学、技術など多様で活発な意見交換が行われました。

■ サミット SUMMIT:水素経済拡大への意志を印象的に示す

サミットのオープニングに登壇したドイツ・バイエルン州の経済・地域開発・エネルギー大臣のフーベルト・アイヴァンガー氏は「脱炭素化を真剣に望み産業空洞化を避けるのであれば、水素がなければ将来は何も機能しないだろう」と強調しました。

サミット2日目には日本から川崎重工業株式会社取締役会長である金花芳則氏が『願望と現実の間: どのエネルギーパートナーシップが将来に耐えられるのか?』と題した基調講演で注目を集めました。また金花会長はサミット全体を締めくくる『LOHC、グリーンアンモニア、LH2 – 脱化石のミッシングリンク(失われた環)は?』と題したパネルディスカッションに登壇、川崎重工業の世界初「液化水素運搬船」で得られた経験を交えながら「水素産業の成長と成熟に向けた主要産業、政策立案者、投資家との強力なグローバルパートナーシップの重要性」と共に、「All Japan として水素産業に貢献していく強い意思」を表明されました。



サミットのパネルディスカッションに登壇された川崎重工業 金花会長

■ 展示 EXPO:最高の水素に関わる対話(ダイアログ)機会

並行して開催された展示会場では水素産業のさまざまな分野から40社を超える出展者が製品やソリューションを展示し、電気分解用の水処理プラントから燃料電池 SUV そして水素の生産から貯蔵、輸送、使用までのバリューチェーン全体を網羅しました。参加者はサミットの休憩時間などを利用し展示を見学、BMWの燃料電

池水素自動車、MAN 水素トラック、シーメンスの自動化および測定ソリューションなど地元のグローバル企業やコンソーシアムと、世界各国からの専門家が水素を持続可能な未来の要素として位置付けるため、分野や国境を越えて交流しました。

ニュルンベルクメッセ日本代表部は、「JAPAN HYDROGEN KIOSK」と称した日本の水素関連企業・団体と連携した共同ブースを設置し、日本の水素技術やビジネス、水素普及に向けた活動などを紹介しました。

【JAPAN HYDROGEN KIOSK 参加/情報提供企業・団体】

- KOBELCO
- 水素エネルギー協会(HESS)
- エネルギー総合工学研究所(IAE)
- 水素バリューチェーン推進協議会(JH2A)
- 日本貿易振興機構(JETRO)ミュンヘン事務所
- 川崎重工業

展示ブースで来場者の対応をされた JH2A の長瀬氏、柏木氏から「東欧など広域のヨーロッパ、南米、アフリカといった日本からアクセスが難しい地域の水素の専門家とじっくりと対話ができる。参加前の想像を超えるイベントで貴重な機会と成果が得られると感じた」とのコメントを頂きました。



JAPAN HYDROGEN KIOSK での対話



Man 水素トラック



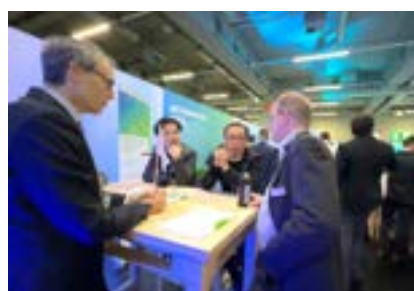
BMW の燃料電池水素自動車

■国際代表団によるインターナショナル・イベント:国際協力の基盤を築く

HYDROGEN DIALOGUE には日本代表団 10 名を含む 17 の国際代表団(デリゲーション)が参加しましたが、初日の夜にはうち 10 か国の代表団が 1 分ピッチ(プレゼンテーション)を行い、水素経済の拡大における自分たちの立場、追求している目標、克服すべき課題などについて説明しました。プレゼンテーションの後、各国の国旗が掲げられたネットワーキングテーブルで、参加者が小グループに分かれ交流、意見を交換し、国際協力の基盤を築きました。



日本代表団のピッチ



日本テーブルでの交流



代表団ピッチの様子

■ 展示会場内ステージ：誇大宣伝から具体的ソリューション提案、そして行動へ

展示会場内のイノベーションステージでは新しい技術や開発を発表する場が提供され、多くのスタートアップ企業が世界各国の投資家へのピッチ(プレゼン)を行うなどのプラットフォームが提供されました。

このステージでは水素バリューチェーン推進協議会(JH2A)の柏木氏が『日本における水素の概況と JH2A の紹介』と題した講演を行いました。講演が始まると次々に来場者が足を止め、多くの立ち見が出るほどで、日本の水素産業の最新状況への関心の高さが窺えました。



JH2A 柏木氏の講演



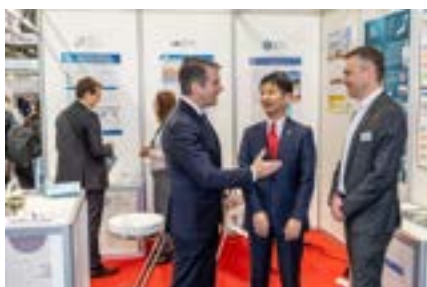
スタートアップ企業のピッチの様子

■ 多彩なネットワークプログラム:分野や国境を越えた水素経済の交流を促進

期間中、HYDROGEN DIALOGUE はバイエルン州経済・地域開発・エネルギー省、バイエルン・インターナショナル、バイエルン水素センター(H2.B)と共同で国際代表团向けに多彩なネットワークプログラムを提供し、日本代表团も参加しました。在ミュンヘン日本国総領事館の別所健一総領事が訪問され JAPAN HYDROGEN KIOSK 出展を含む各ブースの視察や基調講演等の聴講に加え、日本代表团と共にバイエルン州の組織や機関、およびバイエルン州政府の代表との交流、情報交換をされました。

最終日の夜にはニュルンベルク城での国際代表团向けレセプションがニュルンベルク・クリスマスマーケットの象徴である天使「クリストキント」をゲストに迎え開催され、和やかなひと時を共に過ごしました。

翌日には MANトラック&バス、フラウンホーファーIISB、シェフラーAG、ミュンヘン工科大学や関係団体・スタートアップなどを実際に訪問する5つのバスツアーも準備され、バイエルン州における水素経済の状況をご覧いただきました。



別所総領事によるブース訪問



バスツアーに出掛ける国際訪問団



ニュルンベルク城近くの市内クリスマスマーケット

HYDROGEN DIALOGUE は水素経済の市場拡大を成功させるため、あらゆる分野や国境を越えて意思決定者と専門家を対話に招き交流を促進して参ります。今回のイベントに参加、ご協力を頂きました皆様に心より感謝申し上げます。

(記:ニュルンベルクメッセ日本代表部 岩口 写真出典:NürnbergMesse)